

高大連携通信

発行 兵庫県立神戸高等学校総合理学委員会

第5号 平成18年(2006年) 6月12日(月)

「高大連携通信」作成に際して2003年から、フリーソフト OpenOffice.org を使って全て作成されています。(感謝)

高大連携特別講義」受講申し込みは6月30日(金)×切

今年度は、人文科学通論(文系)、自然科学通論(理系)の2つが実施されます!

2002年度から始まった、高大連携特別講義は、今年で、5年目となります。神戸大学企画の連携講義は夏休みに集中講義方式で実施するものと、理系向けには神戸高校が独自に企画する神戸高校生のみ受講可能な連携講義の2つで構成されています。

神戸大学企画の連携講義は全県の高校生が申込可能で、講義内容は現在未定です(昨年より準備が遅れているようです)。昨年度実施分を元にしていきますので、神戸神戸高校企画の連携講義は、講義内容などは「高大連携通信」で紹介済みです。

神戸大学企画「高大連携特別講義」について ※ 昨年度のデータです(仮)

- ◇ 理系向き連携講義「自然科学通論」と文系向き連携講義「人文科学通論」が開設されます。
- ◇ 「自然科学通論」、「人文科学通論」とも8月8日から11日まで
1講義90分、午前午後通して1日3講義の集中講義形式
「自然科学通論」は、理・工・農・海事学部からの講義(計12講義)
「人文科学通論」は、文・国際文化・発達科学部からの講義(計12講義)
- ◇ 各講義の定員はそれぞれ60名、講義場所は神戸大学 六甲台国際文化部キャンパス
- ◇ 兵庫県全域の高校2年生が受講可能
- ◇ ガイダンスを含む全講義をすべて受講すること(特定の講義だけは認めません)
- ◇ 神戸高校生として恥ずかしくない受講生となること
- ◇ レポート等の提出を指示された場合、必ず提出すること
- ◇ 講義によっては、教科書、資料代などが必要な場合があります。
- ◇ 受講後に簡単なアンケートを取りますので必ず提出すること(神戸大学、神戸高校それぞれ)
- ◇ 神戸大学の「自然科学通論」の連携講義と、神戸高校が実施する追加講義を全講義受講した場合、神戸高校における「現代自然科学通論」1単位として認定する。なお、文系の「人文科学通論」についてはこの制度が適用されませんので、ご注意ください。

神戸大学が実施する連携講義は、理系向けの「自然科学通論」、文系向けの「人文科学通論」の2つになります。

「自然科学通論」は、理学部、工学部、農学部、海事科学部、大学院自然科学研究科から選ばれた先生方による研究最先端の12講義により構成されています。

神戸大学のWebサイト(<http://www.kobe-u.ac.jp/>)には、この連携講義のシラバス(講義内容)についても紹介(現在は昨年度分)されています。また、その他の連携講義・公開講座なども掲載されていきますので、ぜひ、ご覧ください。なお、前年度までに実施された連携講義の内容についての解説についてもすべて閲覧できます。このページ下に示す筆者のWebサイト「物理の小道」の「高大連携」のページをご覧ください。

※ 過去4年分の「連携通信」全既刊分、本年度予定の講義内容の詳細がホームページ(<http://tachiro.client.jp/>)にあります。「連携通信」2002年度の発行分全33号、2003年度の発行分全44号(号外除く)、2004年度発行分16号、2005年度発行分17号の全てをこのインターネットサイト上で見ることができます。YahooやGoogleなどのWebサイト検索で キーワード「物理の小道」を入力、検索することで、リンクでも行けます。

神戸高校企画「高大連携特別講義」について

神戸高校主催の講義については、「高大連携通信」既刊号でお知らせしているとおり、以下の4講義はすでに開講することが確定（日程など調整中を含む）しています。

神戸高校が主催する講義

神戸高校が独自に企画する高大連携講義で、幅広い大学から講師で行われます。

講義は全部で数回おこなわれます（今年は4講義分は確定している）。

全講義を受講することが必要です。

実施場所 神戸高校 科学館1F 視聴覚室

実施日 土曜日午前 10:30-12:00 です。

※ 講師の先生の事情（遠隔地など）で変わることもあり。

講義内容

「生化学入門」 大阪大学 理学部（生物） 金澤 浩 先生 9/9（土） 10:30-12:00

「最新ウイルス学入門」 神戸大学 医学部 堀田 博 先生 11/25（土） 10:30-12:00

「2足歩行ロボット」 千葉工大 未来ロボット技術研究センター 古田 貴之 先生（詳細調整中）

「ネットワークセキュリティ学（仮）」 神戸大学 工学部（電気電子） 森井 昌克 先生（詳細調整中）

単位認定

神戸大学企画、神戸高校企画の両「高大連携講義」の受講者には、「現代自然科学通論」として1単位を認定する。成績は、連携講義受講の熱意（出席率、授業態度など）を参考に評価する。

今後、これらの講義の詳細や変更、新しい講義が決まり次第、随時この「高大連携通信」の紙上でお知らせします。

「高大連携講義」の勧め

高大連携講義の目的には、「進路選択の助けとする」ことという入試という目先の問題に関することがあります。視野を拓げ、将来の教育・研究の過程で総合力を発揮することができるための素質を育てることも重要な目的の一つです。理系、文系の壁を越えた発想をもてないといわれる日本人です。このような専門分野に偏った発想（「専門馬鹿」ともいいます）しか持てないのは国際的には珍しい存在のようです。国際会議などで研究者同士の雑談のなかで専門分野以外の話題に事欠くようでは、これからの国際人として活躍出来ないでしょう。この「高大連携講義」は、このような幅広い知識に触れることができる貴重な機会といえるでしょう。

自然科学全体を通して幅広い世界を知り、将来の自分の進路を正しく選択するために、この選択科目「自然科学通論（高大連携講義）」を受講することをお勧めします。高校生に良く分かるように工夫をした講義していただけます。自分には無理と思わず、安心して受講してください。必要なのは熱意だけです。（志）

受講申し込みの手続き

文系向け（理系の人でも可能ですが）の「高大連携講義（人文科学通論）」は、夏休み集中講義だけで終わりです（単位認定はありません）。

理系向け（文系の人でも可能ですが）の「高大連携講義（自然科学通論）」は、夏休み集中講義と、2学期中に行われる数回の講義を合わせて受講することになります。この場合は、単位認定があります。

上記のどちらの場合も神戸高校内での定員は40名です。ただし、神戸大学側の全県募集の定員との関係がありますので、制限を受ける場合があります。

以上の「高大連携講義」の受講希望する人は、以上の事柄を理解の上、6月30日までに申し込み登録用紙（別紙）に必要事項を記入して、担任の先生に提出してください。

平成18年度 高大連携特別講義
受 講 申 込 書

神戸大学との高大連携特別講義（「自然科学通論」については神戸高校実施分を合わせて）
の受講*を希望します。

受講コース 「自然科学通論（理系）」 ・ 「人文科学通論（文系）」
(どちらかを丸で囲む)

- ◇ ガイダンスを含む講義を、全講義すべて受講すること（特定の講義だけは不可）
- ◇ 「自然科学通論」は神戸大学実施講義と神戸高校実施の講義を合わせて受講すること
「人文科学通論」は神戸大学実施講義だけで、神戸高校実施分はありません。
- ◇ 神戸高校生として恥ずかしくないような受講生となること
- ◇ レポート等の提出を指示された場合、必ず提出すること
- ◇ 講義によっては、教科書、資料代などが必要な場合があります。
- ◇ 受講後に簡単なアンケートを取りますので必ず提出すること（神戸大学、神戸高校それぞれ）
- ◇ 「自然科学通論」と追加講義を全講義受講した場合、「現代自然科学通論」1単位として認定*。

平成 18 年 _____ 月 _____ 日

2年 _____ 組 _____ 番 生徒氏名 _____

保 護 者 _____ 印

※ 全県で募集していますので、定員（60人）を超えた場合、受講できない場合がありますのでご了承ください。

※ 「人文科学通論」については、神戸高校の履修単位としての単位認定制度はありません。